

令和8年度 柴平・八幡平発電所 水圧鉄管等調査 (3D スキャン) 業務委託 提案書の作成方法

1 目的

秋田県公営企業（以下「県」という。）では、電気事業法に基づく保安規程により、水力発電所における水圧鉄管・余水路・導水路の健全性評価を定期的実施している。

これまで水圧鉄管等の健全性評価は、土木技術者による目視・スケール計測・スケッチ・写真などのアナログ的手法により行われてきた。

県としては、3D スキャニングにより取得した点群データの解析により、水圧鉄管等の劣化や腐食状況などを自動判別し、高速、定量的かつ高精度な健全性評価への変革、いわゆる DX と早期社会実装を実現するため、企画提案を求めるものである。

2 令和7年度の成果

- ・令和7年度の業務委託として、次を実施した。
 - ① 杉沢発電所 水圧鉄管等調査業務委託
 - ② 杉沢発電所 水圧鉄管等調査 (3D スキャン) 業務委託
- ・この業務委託により、健全性評価の DX に向けて次の成果が得られた。

「3D スキャン技術の活用による水圧鉄管等の健全性評価に係る実証事業の成果」
(資料4)
- ・令和7年度の業務成果を踏まえ、目的達成に向け、令和8年度の業務委託を行う。

3 提案書の作成方法

- ・次を作成し、提出すること。提案書は、任意様式 (A4 横版) とする。

	記載事項及び留意事項	作成枚数
提案書	① 実証内容 ・県が示している特記仕様書 (案) (資料2) に対して、より県の目的達成に資すると考える実証内容を提案すること。 ・必要に応じて、参考資料を添付すること。	任意枚数
	② 実施体制	2枚以内
	③ 実施スケジュール	〃
	④ 社会実装提案	〃
提案特記仕様書 (案)	・提案書の内容を反映した、提案特記仕様書 (案) を提出すること。 ・特記仕様書 (案) (資料2) のファイルを修正し、変更内容が分かるように作成すること。	一式